

【戦略テーマ重点タイプ】

## IoT、ウェアラブル・デバイスのための環境発電の実現化技術の創成

PO：竹内 敬治（株式会社N T Tデータ経営研究所 社会環境戦略コンサルティングユニット  
シニアマネージャー）

### 1. テーマの概要、目標

10年後のウェアラブル・デバイスの製品化を見据えて、超小型、軽量、低コスト、フレキシブルな環境発電技術を実現するとともに、多方面でのIoT用途への展開につなげます。

※IoT（Internet of Things）：あらゆるモノがインターネットを通じて情報をやりとりすることです。

### 2. 期待される成果とインパクト

■環境中の光、振動、温度差、電波などのエネルギーを電力に変換する環境発電技術により、電池交換が不要なウェアラブル・デバイスの実現を目指します。

（2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた成果のデモンストレーションを期待）

■ウェアラブル・デバイスは、スポーツ、健康・体調管理、見守り（セキュリティ）などのセンシング分野で新産業の創出が期待できます。

（IoT、ウェアラブルの関連センサ市場は、推計8,400億円（2020年）とされています。）

